

ど
2度

2024/6/10

No.21

岩渕和信

先生たちの「初心を語る会」、今回も三人の先生の振り返りシートから。

キーワード「2度」

子どもに対する影響力は角度で表すと2度であるということ。

長い時間をかけて、子どもたちに良い影響を与えることが大切。



キーワード「2度」

2度は、船が大きく舵を切ったときに、最大で曲がる角度の大きさです。

教員として働く上で、子どもに与える影響力は決して大きくないという自戒の思いのキーワードです。

ただ、2度でも、時間がたてば、大きな違いになります。自分とのかかわりが将来どこかで役だってほしいという思いもあります。それがあから、教員を続けています。

学校での「2度」には、何があるのでしょうか？

キーワード「2度」

船の舵は、大きく回しても2度程度ということらしい。自分の中にはない分野の話なので新鮮に感じた。

船をコントロールしつつ方向を定めていく際に、極端に大きな角度はとれないが、それを継続させていくことによって、大きな方向を作っていくと解釈した。

学校の改革も、急に大きく舵を切ることにはできないだろうし、今進んでいる方向を改めて見定めたいうえで舵を切り直していく積み重ねだと考えた。

ゆく河の流れは絶えずして、

しかももとの水にあらず (鴨長明『方丈記』)